北海道医師会館９階理事会室

第11回常任理事会

日　時　令和８年８月10日（月）18：40～20：08
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・菅田・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・松岡両監事
（Web参加者）長谷部・髙橋両常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　令和８年度会費減免に関する件
（目黒常任理事）

道医会費の減免申請者は、高齢免除984名・一般減免11名・医学部卒後５年減免341名・出産育児減免２名の合計1,338名で免除額32,458,000円、日医会費の減免申請者は、高齢減免332名・一般減免６名・医学部卒後５年減免313名・出産育児減免１名の合計652名で免除額13,044,000円となる。以上の減免を了承し、次回理事会、来年３月の臨時代議員会に諮ることと決定。

第２号　日本医師会会内委員会委員の推薦に関する件（目黒常任理事）

前期と同様の21委員会の委員を決定したほか、令和８年度死体検案研修会準備会議の構成員には鈴木副会長を推薦することと決定。

第３号　北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦に関する件（伊藤常任理事）

12月末日をもって任期満了となる国保連合会審査委員会委員につき、従来どおり郡市医師会や各専門医会に推薦を依頼することと決定。

第４号　令和８年熊本地震への医療支援金について（目黒常任理事）

令和８年熊本地震への医療支援金として、100万円を呈上することと決定。

第５号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座12件を承認することと決定。

第６号　第３回理事会［８月22日（土）・Web併用］の議案に関する件（目黒常任理事）

提出議案を決定。

報告事項

１．報道機関各社との勉強会［７月22日（水）］について（橋本常任理事）

報道機関各社と意見・情報交換を通じて、医療への見識や医師会への理解を深めることを目的に開催した。報道機関各社からの出席者は５社６名で、当会から「新たな地域医療構想」「日本の国民皆保険」について話題提供し、意見交換を行った。

２．医師会立看護職員養成校連絡協議会［７月25日（土）・Web併用］について（寺本常任理事）

医師会立看護養成校の関係者８校13名の参加がありWeb併用で開催した。北海道から看護職員を巡る最近の動向について情報提供があった後、当会からは、日医医療関係者検討委員会において取りまとめられた会長諮問「人口減少社会における地域の医療・介護人材の確保」の報告書および医師会立看護養成校における入学者・卒業者動向調査の結果等について報告した。また、事前に提出を受けた、各学校が抱える諸問題について活発な意見交換を行った。

３．医師会立看護師等養成所会議［７月31日（金）・Web併用］について（鈴木副会長）

文部科学省および厚生労働省から、看護職養成に関する課題や最近の動向について説明があった後、鹿児島県医師会から、産婦人科・小児科の医師不足や周産期医療の危機に対応することを目的に創設した、医師・助産師・看護師の育成を支援する基金「未来の芽プラン」について報告があった。

４．北海道医師会賞受賞者選定委員会［８月４日（火）］について（髙橋常任理事）

札幌市医師会、北海道大学医師会、札幌医科大学医師会、旭川医科大学医師会より推薦のあった今年度の北海道医師会賞受賞候補者７名について審査を行った（選定委員長：旭川医科大学・西川祐司学長）。慎重審議の結果、７名全員を受賞者とすることに決定した。

５．医育ブロック会議［８月４日（火）］について（目黒常任理事）

三医育機関学長・病院長（医師会長）等の出席のもと「令和８年度診療報酬改定」をテーマに佐古副会長から話題提供後、改定に伴う病院の現状や今後の課題等について幅広く意見交換を行った。

６．外部各委員会報告

⑴　北海道在宅医療推進支援センター第１回運営協議会［７月24日（金）・Web会議］について（伊藤常任理事）

今年度の実施事業として、在宅医療圏ごとの地域資源や医療提供状況を整理・分析し、地域の現状や課題の把握を支援すること、また、地域の求めに応じて医療アドバイザー等を派遣

し、医療・介護連携体制づくりを支援することなどの説明があった。併せて、在宅医療に係る先進事例集の作成や、在宅医療・診療報酬・ACP等をテーマとした各種研修会、訪問診療に同行する研修等を実施する予定であることが示された。

⑵　北海道公衆衛生協会第１回常任理事会［７月27日（月）・Web会議］について（藤原副会長）

役員および専門部会委員の変更について確認後、令和８年度北海道公衆衛生協会賞、調査研究事業、第78回北海道公衆衛生学会の概要について協議した。また、任期満了に伴い、北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部・森満特任教授が新たに会長に就任した。

⑶　第１回北海道障がい者施策推進審議会医療的ケア児支援部会［７月29日（水）］について（末岡常任理事）

第１期ほっかいどう障がい福祉プランにおける成果目標に対する昨年度の進捗状況について説明があり、北海道医療的ケア児等支援センターに寄せられる相談は「教育」や「保育」の内容のものが多く、それらの相談に対する医療的ケア児等コーディネーターの介入度は札幌市が4.9％であるのに対し、札幌市外では37.8％と高率である旨、報告があった。また、今後の中間見直しにあたり関係団体の意見を伺うことの重要性を考慮し、関係団体に対して意見照会を行う予定。

⑷　第１回道央ドクターヘリ運航調整委員会［７月29日（水）］について（目黒常任理事）

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学救急医学講座教授・成松英智委員を選任後、昨年度の運航実績（速報値）および北海道ドクターヘリ安全管理委員会について報告があった。また、道央ドクターヘリ運航20年の節目に伴い、今年度以降の運航実績報告書改訂案について報告があった。

⑸　第２回北海道高齢者保健福祉施策検討協議会［７月30日（木）］について（藤原副会長）

小職が座長を務め、第１回協議会（書面開催）における意見や第10期介護保険事業（支援）計画の国基本指針（案）について報告があった後、令和８年度北海道地域医療介護総合確保基金（介護分）の北海道計画（案）や令和７年度同基金の事業評価、第９期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画の昨年度の取組状況について協議し、意見交換を行った。

⑹　第１回北海道助産師出向支援事業協議会［８月４日（火）・Web会議］について（寺本常任理事）

助産師が不足している地域への応援を目的とした出向と、分娩件数の減少に伴う助産師の能力向上を目的とした研修のための出向を組み合わせた本事業について、昨年度の実績報告があった。続いて、今年度の事業実施状況を確認し、少子化の進展や硬膜外無痛分娩の増加等を踏まえ、今後の本事業の在り方等について協議していくこととなった。

⑺　第２回北海道難聴児支援推進協議会［８月７日（金）］について（末岡常任理事）

本協議会の目標達成に向けた６つの論点のうち、「専門的人材の確保」、「各分野の関係機関による連携」、「本道の広域性に応じた推進体制」の３項目について意見交換を行った。

７．各部報告

⑴　熊本地震の対応状況について（白崎常任理事）

７月28日に発生した熊本地震について、発災直後から当会事務局においてEMISやオクレンジャー（都道府県医・日医事務局災害時情報共有システム）等より情報収集を行い、適宜関係役員に情報共有を行っている。７月31日に日本医師会から全国都道府県医師会に対してJMAT派遣の要請があったことから、８月３日に当会から郡市・医育機関医師会およびJMAT派遣実績のある一部の医療機関に派遣依頼を行った。継続的な支援体制を確保できるよう調整を進める予定。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．地域医療専門委員会第１回在宅医療小委員会［７月24日（金）・Web併用］について（伊藤常任理事）

委員長に藤原副会長を選任後、在宅医療に必要な連携を担う拠点等の指定状況ならびに北海道在宅医療推進支援センターにおける今年度の取組方針について説明があった後、北海道医療計画（在宅医療）の昨年度の取組状況や、24時間の在宅医療提供体制の構築、ICT等を活用した多職種連携、災害の発生に備えた体制整備等を指針に盛り込むことを主な改正点等として、同計画の中間見直しを行うことについて協議した。

２．第３回地域医療専門委員会［７月29日（水）・Web併用］について（佐古副会長）

第２回委員会（書面開催）結果および新たな地域医療構想の概要について説明があった後、北海道医療計画の進捗状況と評価、中間見直しについて協議し、原案のとおり承認した。委員から新たな地域医療構想における急性期拠点病院の選定方法や構想区域に関する検討の進め方等の質問があり、その後活発に意見交換を行った。

第３回理事会

日　時　　令和８年８月22日（土）16：00～16：44

場　所　北海道医師会館・９階理事会室

出席者　松家会長、佐古・鈴木両副会長、目黒・水谷・伊藤・荒木・菅田・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、坂本・大本・吉田・稲葉各理事、滝山副議長、梶・阿久津・松岡各監事

（Web参加者）山科・青木・髙橋各常任理事、今・小西（宏）・小西（勝）・中條各理事、大原議長、小熊・深澤両参与

（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

１．開　　会

２．会長挨拶

３．報告事項

⑴　日本医師会代議員会［６月27日（土）・28日（日）］について（鈴木副会長）

初日は第162回定例代議員会として、仮議長により開会が宣言され、議長には久米川啓氏（香川県）が、副議長には佐藤和宏氏（宮城県）が選定された。引き続き、事業報告、財務委員会報告があり決算が承認された後、次期役員等の選任・選定が行われた。全役職の候補者が定数以内に留まったため、無投票で会長に松本吉郎氏（埼玉県）、副会長に城守国斗氏（京都府）、池端幸彦氏（福井県）、茂松茂人氏（大阪府）の３名が当選した。なお、常任理事には前期に引き続き、当会・笹本参与が当選したほか、今回新たに外部理事として当会・松家会長、裁定委員として鈴木敏夫氏（小樽市医師会顧問）がそれぞれ当選した。２日目は、第163回臨時代議員会として、松本会長の所信表明と日本医学会・門脇孝会長の挨拶の後、議事に入り、令和９年度会費賦課徴収の件が提案どおり承認された。引き続き、代表質問が行われ、北海道は、小職から「医療に係る消費税問題」の１題を提出した。

⑵　日医理事会報告（松家会長）

７月の理事会では、日本学校保健会からの令和８年度助成金申請等について協議後、中医協や第129回社会保障審議会医療部会、第112回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会等の報告があった。８月の理事会では、予防接種事務のデジタル化に係る説明会開催等について協議後、令和９年度医療に関する税制要望、かかりつけ医機能報告に係る医師の研修の審査会キックオフミーティング、中医協、有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会、第15回医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

⑶　日医各委員会報告

１）健康食品安全対策委員会［５月28日（木）・Web併用］について（滝山副議長）

会長諮問に対する報告書および健康食品に関する啓発資料の検討を行い、健康食品は生活習慣改善の補助的手段であることを患者に伝え、健康食品を使用していることを医師や薬剤師に共有するよう促すポスターを作成した。

２）医療安全対策委員会［６月11日（木）・Web併用］について（白崎常任理事）

会長諮問に対する答申の取りまとめについて、最終的な確認と協議を行ったほか、答申作成後の来期の取り組みについて検討した。なお、答申は、同月19日に紀平幸一委員長から日医・松本会長に手交した。

⑷　その他

１）熊本地震の対応状況について（白崎常任理事）

日本医師会は７月28日の熊本地震発災直後に災害対策本部を設置し、先遣JMATを派遣するとともに、全国の都道府県医師会に対してJMATの派遣を要請した。熊本県庁にはJMAT調整本部を、被害の大きい宇城、八代地域と、病院船として関連法制定後初めての活動となる「はくおうⅡ」には地域本部をそれぞれ設置し、統括JMATが現地の医療ニーズの分析・評価等を行いながらDMAT等の関係者と連携を図って調整している。当会では、事務局においてEMISやオクレンジャー（都道府県医・日医事務局災害時情報共有システム）等より情報収集を行い、適宜関係役員と情報共有を行っている。当会から郡市・医育機関医師会およびJMAT派遣実績のある一部の医療機関に派遣依頼を行い、支援JMATとして、８月22日から31日まで５日間ずつ２医療機関の派遣が決定し、９月１日からは、統括JMATとして３医療機関を継続的に派遣する予定であり、必要な支援は確保できるよう調整を進めることとしている。

４．承認事項

⑴　社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦について（伊藤常任理事）

精神科１名の交代につき、北海道精神科病院協会から推薦のあった医師を社会保険診療報酬支払基金北海道支部に推薦することについて承認決定。

⑵　日本医師会会内委員会委員の推薦について（目黒常任理事）

前期と同様の21委員会ならびに令和８年度死体検案研修会準備会議にそれぞれ委員を推薦したことについて承認決定。

⑶　令和８年熊本地震への医療支援金について（目黒常任理事）

令和８年熊本地震への医療支援金として100

万円を呈上することについて承認決定。

５．協議事項

第１号　令和８年度会費減免に関する件

（目黒常任理事）

道医会費の減免申請者は、高齢免除984名・一般減免11名・医学部卒後５年減免341名・出産育児減免２名の合計1,338名で免除額32,458,000円、日医会費の減免申請者は、高齢減免332名・一般減免６名・医学部卒後５年減免313名・出産育児減免１名の合計652名で免除額13,044,000円となる。以上の減免を了承し、来年３月の臨時代議員会に諮ることと決定。

第２号　令和８年度北海道医師会賞受賞者に関する件（髙橋常任理事）

北海道医師会賞受賞候補者７名を受賞者とすることと決定。

第３号　理事提案事項

特になし。

第４号　その他

特になし。

６．道総医協関連事項

令和８年度第２回理事会（令和８年５月23日）報告以降に開催された会議について報告した。

閉　　会

第12回常任理事会

日　時　令和８年８月25日（火）17：58～18：21

場　所　北海道医師会館・９階理事会室

出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事

（Web参加者）橋本常任理事

（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者７名、更新申請者45名を承認し、日医へ申請することと決定。

第２号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（末岡常任理事）

認定要件を満たした新規申請者２名、更新申請者１名を承認し、日医へ申請することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座５件を承認することと決定。

第４号　その他

⑴　９月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．医師キャリアサポート相談窓口コーディネーター連絡会ならびに相談窓口利用者との懇談会［８月11日（火）・Web併用］について

（寺本常任理事）

令和７年度の北海道補助金事業、育児・復職研修支援・無料職業紹介事業の実績等について報告後、令和８年度の相談窓口関係事業の実施計画等について協議し、意見交換を行った。連絡会終了後には、相談窓口利用者相互の交流・情報交換ならびに要望聴取の機会として、利用者との懇談会を開催した。懇談会では、小職より本年４月に開催された第20回男女共同参画フォーラムの基調講演からDEIB［Diversity（多様性）・Equity（公平性）・Inclusion（包摂性）・Belonging（帰属感）］の推進について話題提供を行った後、ワークショップとして「職場・家庭・地域社会の中でBelonging（帰属感）を感じられる環境をどうつくるか」をテーマに、コーディネーター、利用者、それぞれの立場から現状や経験等を踏まえてディスカッションを行い、盛況のうちに終了した。

２．政経問題懇話会［８月22日（土）・Web併用］について（荒木常任理事）

厚生労働省年金局資金運用課・原田朋弘課長を講師に迎え、「経済社会の変遷とこれからの社会保障制度」をテーマに、社会保障制度の変遷や近年の見直しの動き、今後の社会保障を考える上での視点等についてご講演いただいた。

３．外部各委員会報告

⑴　第２回北海道障がい者施策推進審議会［８月６日（木）・Web併用］について（藤原副会長）

小職が会長を務め、第１期ほっかいどう障がい福祉プランの中間見直しの基本的な考え方を確認した後、同プランの推進管理票に基づき、令和７年度の取組状況や課題、評価等の実績を確認し、今後の改善の方向性等について意見交換を行った。

⑵　北海道医療審議会　第１回地域医療部会［８月21日（金）・Web併用］について（藤原副会長）

小職が部会長に選出された後、地域医療支援病院の名称承認１件について協議し、了承した。また、条件付き許可を行った５医療機関の履行状況について報告があり、今後も履行状況を継続的に確認していくこととした。

⑶　北海道医療審議会　第１回医療法人部会［８月21日（金）・Web併用］について（鈴木副会長）

社会医療法人の認定３件、医療法人の設立は医科診療所12件、歯科診療所11件の計23件、医療法人の解散は医科病院１件、医科診療所10件、歯科診療所３件の計14件、医療法人の合併３件、医療法人の分割１件、地域医療連携推進法人の代表理事の選定の認可１名について、すべて承認した。